

おすすめの本(1年)

今年度2枚目のららららNEWSは、おすすめの本を紹介します。まずは期待に胸膨らむ1年生へ。

『中学生になったら』 宮下 聡 岩波ジュニア新書

人生の中でも類を見ない、激動と成長の中学3年間を応援する1冊。巻末には、「大丈夫だよ！君は一人じゃない。」なりたい自分を大切にしたいあきらめずに進んでいこう。」と著者からのエールが綴られています。

『不可能を可能にする最強の勉強法』

吉田たかよし PnP出版

著者が培ってきた具体的な勉強の技術をまとめた本。本書の中で、「勉強とは人生にチャレンジしていく最強の手段」と述べています。そして、大切なのは挑戦心を忘れないことだそうです。

『ひとりひとりにフィットする1からの勉強法』

勉強大全』 伊沢拓司 KADOKAWA

クイズ番組「東大王」でおなじみの作者が教える「これだけは外してはいけない」という勉強のポイント。“勉強の原理”がまとめられた本。

『女子中学生の小さな大発見』 清 邦彦新潮文庫

現役女子中学生が、疑問に思ったことをレポート。身の回りのささやかな疑問を調べてみたら！感動の発見に出会えるかも？

『この情報、本当ですか？』 塚田祐之

岩波ジュニア新書

巷にあふれる膨大な情報から事実を読み取るにはどうすればいいのか。元NHK報道番組ディレクターの著者が、情報の正しい読み取り方を伝える本。

おすすめの本(2年)

2年生は2学期に職場体験学習があります。

図書館には仕事の実際からなり方までを解説した『なるにはBooks』シリーズがあります。

『仕事発見！生きるって働くってを考える』

毎日新聞社

世の中にはたくさんのお仕事があり、そのどれもが、社会への貢献という役割を持っています。

なりたい仕事はなんですか？この本の仕事探しチャートからあなたにぴったりの仕事が見つかるかも？

『仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場』

朝日ウィークリー編集部 朝日新聞社

社会の第一線で働く大人のリアルな仕事現場を徹底取材。64人の先輩からのメッセージ。

『ふむふむおしえてお仕事』三浦しをん 新潮文庫

夢を叶え、技能と情熱を持って働く16人の女性のインタビュー集。作家の三浦しをんさんが、持ち前の妄想力でつぶやくツッコミも秀逸。

『働くって何だ 30のアドバイス』 森 清

岩波ジュニア新書

長年にわたって「働くこと」について研究してきた著者による仕事案内。これから社会に出て行く若者のための働き方入門です。

『はじめての研究レポート作成術』 沼崎 一郎

岩波ジュニア新書

初めて自分で何かを調べてレポートにまとめる人のために図書館とインターネットを使って入手できる資料を用いたレポート作成の手順を親切丁寧に解説。

おすすめの本(3年)

3年生では進路研究。研修旅行。

図書館には『なるにはBooks 大学学部調べ』シリーズがあります。また、進路室の前にも様々な大学パンフレット等があります。

『探究に役立つ！学校司書と学びしレポート・論文作成ガイド』

東京都立学校司書会編

表題の通り、調べたり、まとめたりするときの手順をわかりやすく紹介してあります。

『世界は君を待っている！』

MBA留学とグローバルリーダーシップ』

中野正夫編著 中央経済社

各界で活躍する13名の留学経験者が、海外留学のすすめを熱く語ります。

『最後の秘境 東京藝大』

天才たちのカオスな日常』 二宮敦人 新潮社

入試倍率は東大のなんと約3倍。しかし卒業後は行方不明者多発との噂も流れる東京芸術大学。天才たちの日常に迫る、前人未到、抱腹絶倒の藝大探訪記。

『偏差値95、京大首席合格者が教える』

京大読書術』 桑原圭太郎 KADOKAWA

天才が日々実践する読書の常識を超えた「超・読書術」をついに体系化！毎年千冊を超える読書家が教える「本の使い倒し方」を一挙紹介！

『10才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる 学ぶ人と育てる人のための教科書』

落合陽一 小学館

筑波大学准教授・学長補佐でもある落合陽一氏。AI時代を勝ち抜くために学ぶべきこと、デジタルネイチャー時代に必要な教育とは。

おすすめの本(4年)

芸術の科目が選択になったり、進路によって選択する科目を検討していくようになります。

『高校生活100のアドバイス』 東海林 明

岩波ジュニア新書

勉強や部活動に濃密な時間を費やす高校生活への実践的なアドバイスが満載。

『高1からの進路教室 改訂版』 渡邊 洋一

幻冬舎

進路アドバイザーの著者が100人いれば100通りのあなたの1番を生かす進路選びをアドバイス。大学以外にも留学や資格を得られる教育施設も紹介。

『高校生の勉強法』 清水章弘 KADOKAWA

やり方がわかれば勉強は絶対に面白くなる!! 勉強に役立つ「週刊計画表」や自分のウィークポイントを見つける「もどりま表」など特典も満載。

『文系?理系?人生を豊かにするヒント』

志村史夫 ちくまプリマー新書

学校の成績だけで「自分は文系(理系)」と決め付けていませんか?自分の人生をより豊かに生きていくために好きなことを選択をしよう。

『思春期を生きる』 小野 善郎 福村出版

「迷い」「悩み」「不安」は思春期の3大テーマ自分探しの道に迷ってしまわないよう、今の自分を知ることで、少しずつ前を向けるようになるガイドブック。

おすすめの本(5年)

新書を読んで、興味ある分野の理解を深めよう!ここでは近年の新書大賞に選ばれたもので図書館にある本をご紹介します。

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎 光文社新書

2018年第一位。科学冒険ノンフィクション。世界的に問題となっている農作物を食い荒らすサバクトビバッタの研究のため、アフリカに渡り、その研究活動が認められ、現地のミドルネームを授かる。

『未来の年表 人口減少日本でこれから起きること』 河合雅司 講談社現代新書

2018年第二位。恐るべき日本の未来図を時系列に沿って体系的に解き明かした本。これからの日本社会・日本経済を真摯に考えるうえでの必読書!

『未来の年表2』『未来の地図帳』もあり。

『文系と理系はなぜ分かれたのか』

隠岐さや香 星海社新書

2019年第二位。永遠の「文系・理系」論争、基本書にして決定版!世の中が何時から文系と理系に分かれたのか?を歴史的事例に基づき解明。また「学際化」によって文系/理系はなくなるのか?を解説。

『独り戦』 大木毅 岩波新書

2020年第一位。日本人の想像を絶する独り戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蠻とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

おすすめの本(6年)

例えていえば、高校まではプール、大学は海。泳ぎ方を変えなければおぼれてしまうのです。

『大学選びより100倍大切なこと』

筒井美紀 シャンパンシリスト社

大人になるということは本物のリテラシーを獲得すること。そのために大学ではどんな学びが展開されているのだろうか?

『学習設計マニュアル』

鈴木克明・美馬のゆり 北大路書房

大学での学びは深いのです。環境を整え自らの学びと向き合い、探究を続ける方法とは?

『学問の発見』 広中平祐 講談社ブルーバックス

この本は30年以上前に刊行された本ですが、著者が学問の愉しき、喜びを自身の経験、人生を元に語った本です。

『18歳から考えるフーケール第2版』

道幸哲也 法律文化社

私たちが生きていくためには、働くことは不可欠の活動です。労働条件や労働環境を含めて知っておいてほしいことがまとめられています。

『18歳きつぷ』 朝井リョウ 朝日新聞社

作家の朝井リョウさんが人生の選択を前にした18歳にインタビューした写真集。

編集後記

長い社会人生活の中で、初めての休校措置となった昨年度末からのコロナ禍。西校図書館はシステ

ムの変更などもありなんだか落ち着かない日々を過ごしています。図書館は静謐な場所ですが、前期生の活気あふれる声や後期生の常連さん!!に会えないことが一番の理由かもしれません。早く日常に戻れるよう、新しい生活習慣を身につけたいものです。

今年度も臨時休校が始まり、現在分散登校と当分平穏な日常は戻らないかもしれないけれど、こんな時こそ、歴史に学び、新しい時代に向けて準備していきましょう。そして開館された暁には、学校図書館を活用して、読書の輪を広げていきましょ。今年度も、図書委員会ともども、よろしくお願ひします。

(同書)



